

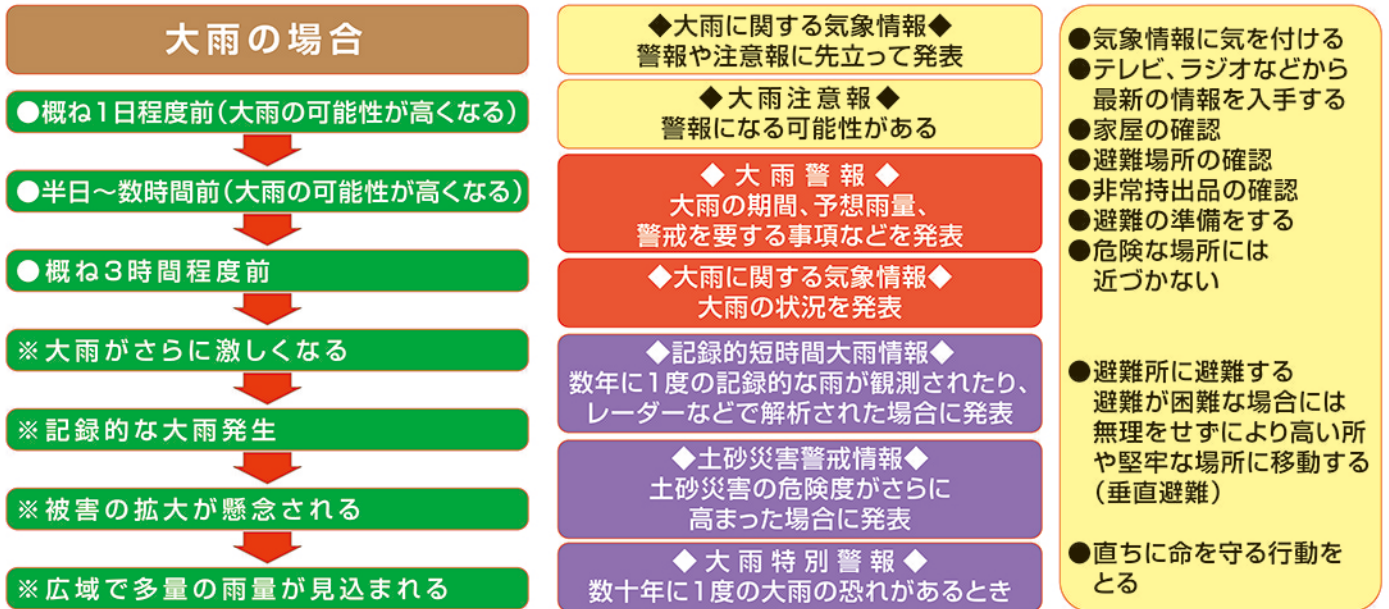
# 防災気象情報に注意しましょう!!

台風や発達した温帯低気圧に伴う暴風雨によって強風と大雨による災害が広範囲に入り混じって発生する場合は風水害と言います。

風水害は、事前にある程度予測できるとはいえ、台風などがもたらす大雨・強風の威力は計りしれません。また台風が過ぎ去ったとしても河川の増水・氾濫の恐れがあります。テレビ・ラジオなどの気象情報や防災無線・広報などの情報に十分注意し、万全の対策をとるようにしましょう。

## 様々なタイミングで発表される

## 気象庁からの防災気象情報を理解して役立てましょう!!



## ●雨の降り方と強さ

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間に10～20mm	1時間に20～30mm	1時間に30～50mm	1時間に50～80mm	1時間に80mm以上
ザーザーと降り、地面一面に水たまりが出来る程度の雨	どしゃ降り、傘をさしてもぬれてしまう程度の雨	バケツをひっくり返したような雨	滝のように降り、傘が全く役に立たなく、先が見えない雨	息苦しくなるような圧迫感があるような雨
長く続くときは、注意が必要	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まります。	道路が川のようになり、がけ崩れや山崩れが発生しやすくなります。	マンホールから水が噴出したり、土石流などの災害が発生する可能性が高くなります。	雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。
				

## 風水害の後には…

- 切れた電線が建物、庭木、塀などに接触していないかチェック。断線などがあれば、すぐに電力会社に連絡してください。
- 灯油など危険物を入れた容器やプロパンガスボンベに異常がないかチェック。
- 瓦、看板などの落下や倒壊の危険物があるかどうかチェック。
- 浸水にあった場合には、感染症を防ぐためにこんな対策を。
  - 1 床下、庭、家の周辺には脱臭・殺菌作用のある石灰をまく。
  - 2 濡れた畳は日光で乾燥させてから、石けん水で拭く。
  - 3 家具などはクレゾール石けん液で消毒する。